

#往時の岩松地区

特集「町並み保存」
遅くなんかない

明治期以降の建物が多く残る津島町岩松地区。かつては物資の集散地として栄え、旅館や商家が連なり賑わいを見せていました。大きな劇場もあり、芸者が町を行き交う姿も珍しくありませんでした。

昔の風情が残る岩松地区の町並みを守っていききたいと、平成16年から町並み保存活動が始まりました。

活動を始めてはや15年。町並み保存をかかげて行うイベントなども少しずつ認知されてきました。しかし、思うような形にはならない状況が続きました。「もう遅い」ところどころでそういった声があがったことも！。

それでもまだ遅くないと前に進み続ける人たち。今月の特集では、あきらめることなく町並み保存に挑戦する皆さんの姿から、時間がかかっても挑戦し続けることの大切さを学びます。

岩松町並み マップ



西村酒造場跡地

大きな蔵は明治期の建築。市に寄付され、いろいろなイベントに利用されていましたが、現在は老朽化により非公開となっています。



西崎本店

▲うだつ(防火壁)

明治4年の建築。岩松の町屋の典型的な美しい格子などがみられる建物。

津島町商工会



阿部邸

明治40年ごろの建築。岩松の蔵元で一番最後まで酒造りをしていました。▼ベンガラ塗りの格子



港町

大正時代、このあたりまで大きな帆船が数多く見られ物流が盛んでした。



よらず屋岩松

岩松の佇まいにあわせ、木造建築風にリフォームしたコミュニティスペースです。

至 愛南町 →

岩松の町人長屋

昔ながらの岩松の長屋の特徴を今に伝える建物です。



大畑旅館

大正期の建築。小説家 獅子文六の代表作「てんやわんや」ゆかりの部屋があります。



岩松川

松の木

岩松の象徴ともいえる松の木。樹齢160年ほど。



←至 松山市

新橋

岩松川のしらうお

漁期は1月中旬から約1ヵ月間で踊り食いやお吸い物として食べられています。



あおさ・あおのり漁

岩松川河口のあおさとあおのりは岩松の特産品。短いものがあおさ、長いものがあおのりです。

岩松の昔ながらの建物の主な特徴は、平入り2階建ての木造瓦ぶきです。商人にとってめだたい色とされる、朱色のベンガラ塗りの格子や持送りが施されています。

また、中庭などの内空間が配置され、2階の天井は低く曲面になっており、町屋独特の伝統的な様式になっています。

今でも商人の民家や商店が残り、軒が連なる町並みは岩松川と背後の山とともに、昭和の賑わいを今に感じさせてくれます。

落ち着く町並みを目指して

岩松地区で「町並み保存」に関わる人たちに、活動について慎重派と推進派の立場から意見を伺いました。活動を始めたころは無関心であった慎重派の皆さんも、今では少しずつ理解が進み、地域全体で町並み保存活動が進み始めています。

▼慎…慎重派 ▼推…推進派

「町並み保存」の活動を始めたころの地域の皆さんの反応は？

イベントをやっているだけという意識が強かったみたいです。

慎…もう壊してしまった建物も多く、今さらな感じが強かったです。小さいころから当たり前に

「今さら」という意見に対して、どのように考えましたか？

過ごしてきたこの町並みに価値があるといった意識はなく、これを生かして町並みを保存していくというイメージがありませんでした。やっている人たちの自己満足の世界で、静観しているだけという感じでした。

推…今残っている建物の中にも文化的価値が高いものがあります。建物が残っている今こそやらんといけんという思いが強かったので有志で活動を続けました。壊してしまった後に後悔をしても取り戻すことはできません。

推…自分たちが育った町が廃れていくのを見たくないという一心でした。残された酒蔵などを活用してイベントを開催するなど、賑わいを取り戻そうと必死でした。でも、地域の皆さんからすると「町並み保存」というより、

地域の人たちが理解を示し始めたきっかけは？

推…「町並みを保存しましょう」と呼びかけても反応はありませんでした。でも、少しずつベンガ



【推進派】居村さん

ラの格子などを修理して形にすることで「うちもしようか」という声を聞くようになりました。

慎…確かに、修理した家の様子を見て「落ち着く、安心できる」と感じました。それ以来、将来的な町並みをイメージすることができるようになりました。協力できることは協力していこうと「町並み保存」に対して前向きな気持ちになりました。

自分たちが育った町の歴史・文化を知る面白さ

私自身、明治4年に建てられた家で生活しています。昔の家はとにかく寒い。新しい家に住みたいと思ったこともありましたが、でもそれ以上に、残してもらった家を守り続けていかなければならないと思っています。家のいたるところには、当時の職人が時間をかけて施した技が見て取れます。「なぜこういう作りなのか」そういったことを知るだけでも、自分が生まれ育った町が昔どんなところだったのかを知る面白さがあり、知ることですり続けたいと思う気持ちが高まります。

昨年の7月に「岩松守ろう会」が立ち上がりました。団体名は、岩松小学校の生徒から案を募り決定しました。これまで数人で取り組んできた町並み保存活動ですが、これからは年代を問わず地域全体で進めていきます。



【岩松守ろう会 西崎会長】

町並み保存事業にかかる 本市での取り組み

■重要伝統的建造物群保存地区 (重伝建)

歴史ある美しい集落や町並みが文化財保護法によってその価値が特に高いと判断された地区。県内では内子町と西予市の町並みが選定されており、全国では118地区あります(平成30年8月17日現在)。

本市では、旧津島町時代の平成16年から重伝建選定に向けた取り組みが進められています。

■岩松地区町並み保存事業補助金

岩松地区の伝統的な町並みの景観を整えるため、建造物などを修理・修景するための補助制度を平成29年度から実施しています。

【対象工事】

- ▶屋根瓦の修理
- ▶しっくい、ベンガラの塗り直し
- ▶看板・シャッターの取り替え
- ▶そのほか、岩松らしい伝統的な町並みを維持するために必要な工事

<共通>

【問合先】文化・スポーツ課 ☎49-7033
または津島支所教育係 ☎49-7060



活動に関わるようになって、何か変化はありましたか？

慎…今ある家を将来的にどうしていくか、跡を継ぐ子どもたちと話す機会ができました。町並み保存活動が形になるころには世代交代しているはず。実際に目に見える形になることで、家族に説明できるようになり、地域の人にも勧めることができるようになりました。

今後の課題をどう考えますか？

慎…数十年先の岩松の町並みを見たいという気持ちが先行するようになりました。そのスター

ト地点に関われることにはうれしさも感じます。でも、今はまだ一部の人の理解を得られたにすぎません。岩松地区に住む多くの皆さんの協力を得ることは大変時間もかかり、労力も必要になってきます。

推…今後も課題は山積みですが、地域の中でバラバラだった意識が同じ方向を向くようになりました。それだけでも大きな前進です。また、修理するときは地元産材を使うとか地元業者に依頼するとか、もう一歩進むことで経済の話にもつながれば良いと思います。

落ちつく町並みを目指して

推…慎重派の人たちが家族や地域の皆さんと話し合う機会が増えただけでも大きな一歩です。ここに来るまでに時間はかかりましたが、これからが本番です。



【慎重派】左：濱田さん、
右：武澤さん

遅くなんかない

普段の生活の中でも、「もう遅い」「できない」と感じることもあると思います。でも、何ごとも行動を始めるのに遅いということはありません。

目標に向けてあきらめずに取り組み、必ず目標達成に近づきます。たとえ時間がかかっても、その過程には得られるものも多くあり、うまくいかなかったとしても経験値として残ります。

挑戦することは自分を成長させる絶好の機会です。まずは、自分はどうしたいのか。改めて自分と向き合ってみませんか。